

9月議会は災害対応のために期間を短縮しての開催となりました

議会運営委員会

(7月26日)

決算審議は12月に持ち越し

9月議会は、9月4日の開会予定が豪雨災害により、9月18日の招集、一般会計と特別会計の決算は12月議会で提出したいと執行部から提案されました。これを受け議会運営委員会は7月26日に対応を協議しました。

委員から議会が開会すれば、執行部は議会対応に迫られるので、会期短縮を考える必要がある。一般質問の日程や質問時間の短縮をしたらどうか。一般質問は議員の権利だが、大災害の対応を優先しなければならぬ。議案質疑でしっかりと質問をすれば一般質問はなくてもよい。などの意見が出ました。他の自治体でも同様な事案もあったとの報告もあり協議の結果、会期をできる限り短縮するため9月定例議会に限り一般質問を

見送ることを決定し、8月9日の全員協議会で報告しました。

全員協議会

議員からは、一般質問は行 うべきだとの声も

全員協議会では、9月定例会は災害対応などから期間を短縮したい。このため一般質問は今回に限り省略する事が議会運営委員会で決定されていると議長より報告がありました。

これに対し議員から一般質問は議員が積極的提案をして、市へ対する意見や要望を行うもので、これを行わない議会は考えられない。市民は議員がどのような質問し、執行部がどう答えるかに関心を持っていて。質問項目を絞ってでも行うべきだ。被災しても一般質問や代表質問を行っている議会がある。こういった時こそ一般質問

問をすべきだ。との意見がある一方で一般質問があれば担当課は答弁準備を行い質問中は待機しなればならない。災害対応業務が手薄になるので配慮すべきだ。全員協議会は意思決定の場では無いので出された意見も参考にして再度議会運営委員会で協議したらよい。と言った意見が出されました。

議会運営委員会

(9月13日)

全員協議会での意見をふまえ9月13日に開催された議会運営委員会において、今回の災害関連議案の質問は慣例によらず担当委員会の委員であっても質問できることとし、一般質問は見送ることが決定されました。

編集後記

7月豪雨災害や台風の襲来は、各所で河川の氾濫や土砂崩れなどが発生し、大変大きな災害となりました。復旧・復興対応が行われる中、招集された9月定例市議会は期間を従来の半分程度に短縮し一般質問は見送りとなりました。

次の12月議会では、災害の要因や対策、復旧・復興や各種支援、対応の在り方など豪雨災害関連の質問が多くなると思います。

議会は議員と執行部が議論を闘わせる場で、議論によりより良い方向性が導かれます。その議論を分りやすく知らせるのが議会だよりです。10月に議会広報公聴特別委員会は体制充実を図りました。次回の委員会で広報誌や議会報告会の充実などと、SNSを利用した情報発信や情報共有など新たな方法も考えて行きたいと思っています。

(宮田好夫)

編集

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報公聴特別委員会
伊藤泰樹	森和之	森上昌生	石井聡美	石部誠	石田芳生	宮田好夫	